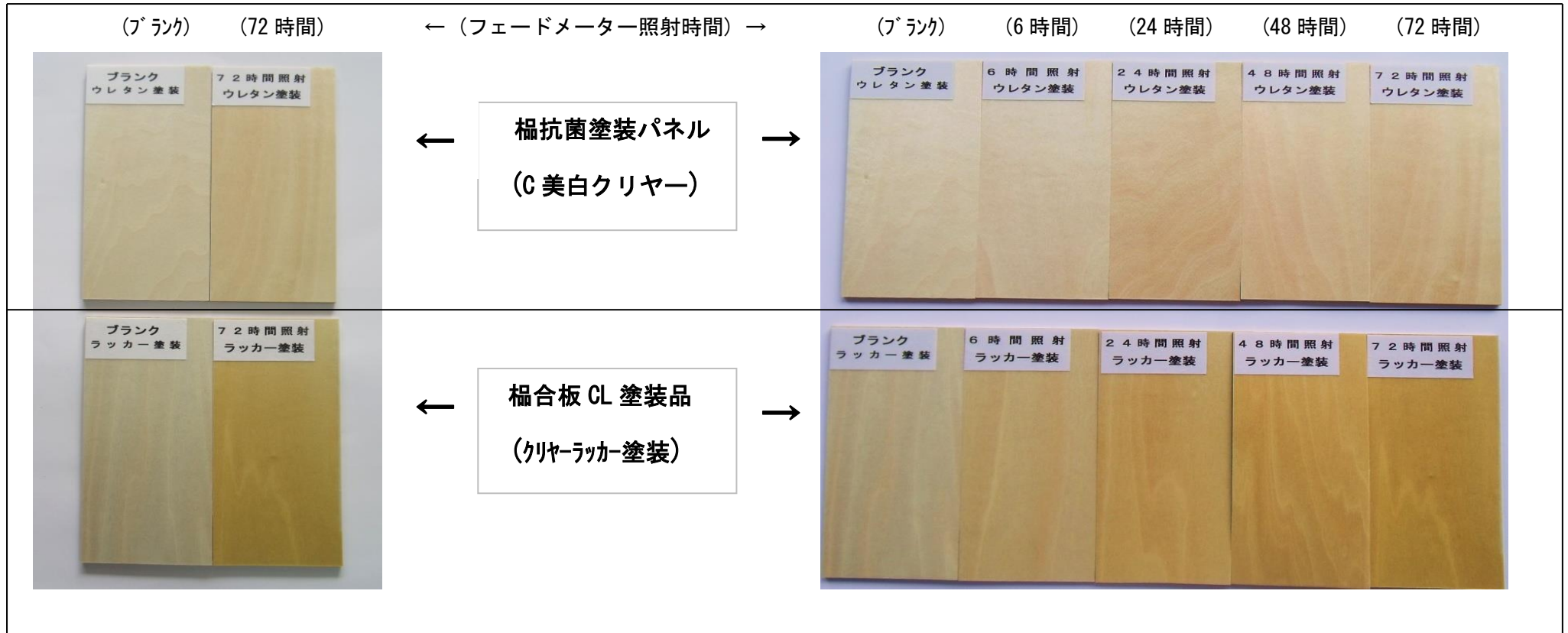


＜紫外線フェードメーターによる黄変性試験＞



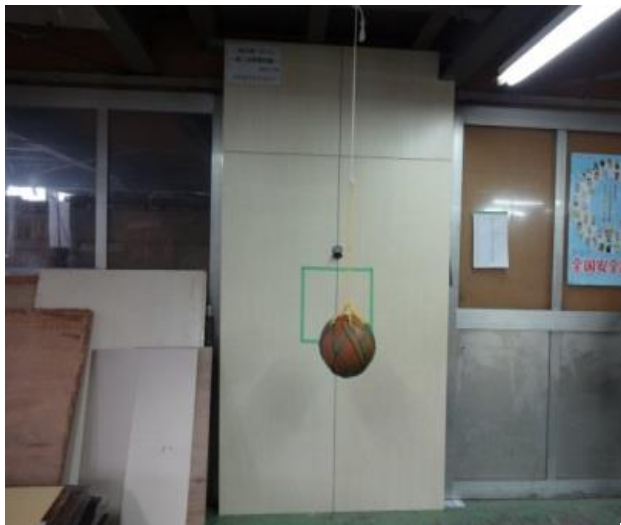
※上記試験結果より、徳正合板製「桐抗菌塗装パネル」は、一般的な「桐合板クリヤーラッカー塗装」に比較して、

日当たりの良い場所に施工した際の経時による変色が少なく、耐光性に優れた商品であることが確認されました。

【目的】 楳抗菌パネルを接着剤とピンネイル(径 0.6 mm)併用で施工した場合の耐久性を確認する。

【施工方法】 LGS65×40、間隔 303 mm(写真①) → 下地合板 12 mmをビス止め(写真②)
 → 楳 5.5 mm美白クリヤー裏面へ接着剤塗布(写真③) → ピンネイル(径 0.6 mm)
 を 200 mm間隔にて打ち付け、目透しにて施工完了(写真④)

試験体全景



①LGS65×40 間隔 303 mm



②下地合板 12 mm LGS にビス止め

③楳抗菌パネルへの接着剤塗布
(コニシ酢ビ接着剤)



④完成施工写真



試験体側面 LGS+12 mm合板
+抗菌パネル 5.5 mm

コンパネビス止め間隔 150 mm



【試験方法】 施工された楕抗菌パネルに、以下の方法で衝撃を加え、回数毎でのパネル表面や施工に用いたピンネイル等の状態の変化を観察する。

- ①バスケットボール7号球(高校及び一般用)をパネルからの距離60cm、かつ床からの距離90cmの位置に130cmのひもで天井から宙づりにする。



試験体全景の写真

- ②ひもを張ったまま、床からの高さ220cmの停止位置までボールを引き上げた後ボールを離す。ボールは、パネルの的のほぼ同じ位置に同じ軌道で衝撃を加えることとなる。なお、回数の測定にはTANITA・PD635(振動歩数計)を用いた。



[結果]

- | | | | |
|----------|------|----------|------------------------------------|
| 9/30 現在 | 衝撃回数 | 3,000 回 | 観察事項：パネル表面及び施工に用いたピンネイル等の形状等に変化なし。 |
| 10/ 8 現在 | 衝撃回数 | 6,000 回 | 観察事項：パネル表面及び施工に用いたピンネイル等の形状等に変化なし。 |
| 10/15 現在 | 衝撃回数 | 9,000 回 | 観察事項：パネル表面及び施工に用いたピンネイル等の形状等に変化なし。 |
| 10/22 現在 | 衝撃回数 | 12,000 回 | 観察事項：パネル表面及び施工に用いたピンネイル等の形状等に変化なし。 |
| 11/ 5 現在 | 衝撃回数 | 17,000 回 | 観察事項：パネル表面及び施工に用いたピンネイル等の形状等に変化なし。 |
| 11/20 現在 | 衝撃回数 | 20,000 回 | 観察事項：パネル表面及び施工に用いたピンネイル等の形状等に変化なし。 |
| 12/11 現在 | 衝撃回数 | 27,000 回 | 観察事項：パネル表面及び施工に用いたピンネイル等の形状等に変化なし。 |
| 12/18 現在 | 衝撃回数 | 30,000 回 | 観察事項：パネル表面及び施工に用いたピンネイル等の形状等に変化なし。 |